

出題分析		
試験時間 60 分	配点 50 点	大問数 4 題
分量 (昨年比較) [減少 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">難化</span> ]
<p><b>【概評】</b></p> <p>設問数は大問 4 題, 全 50 問で昨年と変わらなかった。記述式問題がなく, すべて記号選択問題である点も昨年と同様であった。地域的には, 大問 1 と 2 は西洋史, 大問 3 と大問 4 は東洋史から出題された。細かい知識を問う問題や, 消去法が使えず, 答えを導くのが難しい組合せ式の問題が多かったため, 難化したと言える。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
1	ヨーロッパ世界における取り決め	古代から近代のヨーロッパ史を中心に問われた。(2) d, 陪審員は 30 歳以上の市民から抽選で選ばれた。(4) ドミニコ修道会の創設は 13 世紀前半のこと。(5) ①, ノヴゴロドを建てたりューリクはデンマーク系ではなくスウェーデンの出身。(6) d, シチリア島は 13 世紀後半の「シチリアの晩鐘」でアラゴン王家の支配下に入った。早大ではしばしば出題される。(10) c, 『リヴァイアサン』は 1651 年に発刊だが細かい。(12) ②1775 年の大陸会議にはケベックも招待されたが, 参加していない。	やや難
2	脱植民地化について	近世から現代のヨーロッパ史を中心に問われた。(4) ①, ドイツは 19 世紀末までにミクロネシアの諸島とメラネシアのビスマルク諸島を獲得したので, 正しいと考えられる。(6) カイロ会談では, 対日処理方針が議題とされた。(7) レーガンは, 1980 年代前半に戦略防衛構想を打ち出した。(8) 大西洋憲章の内容を覚えていなかったかもしれないが, 文章を読むと「ガンディーが批判」とあり, 「領土変更を欲しない」という部分を批判したと推測できる。(11) マンデラがアフリカ民族会議に参加したのは 1944 年のことだが, 難しい。	やや難

設問別講評			
3	アブデュルレシト＝イブラヒムの日本旅行記	主として、近代東洋史から出題された。(1) c のサモリ＝トゥーレに関する文が正文だが、細かいので消去法で正解したい。(2) クリミア＝ハン国以外はすべて19世紀にロシアに併合されるか支配下に入った。(4) b, 韓国の保護国化は第2次日韓協約による。(8) b, ファーティマ朝はチュニジアで建国された。(9) ヒラーファト運動は細かいが、消去法で正解できる。	標準
4	古代中国の政治社会	(3) 唐代の三省六部では、尚書省が政務執行、門下省は詔勅や上奏の審議、中書省が詔勅の草案などを作成した機関。(8) 晋から韓・魏・趙が生まれ戦国時代が始まった。(10) ①, 李斯ではなく、韓非が正しい。韓非は法家思想を大成し、その集大成といえる『韓非子』を著したのと対照的に、李斯の著作はほとんど残っていない。(12) 問題文に示された「こうした貴族が中心となって栄えた文化について」に基づき、①の「仏教が盛んになり、多くの仏典の翻訳が行われた。」という文の正誤を判定する必要がある。教科書では仏典の翻訳は北朝の事績のみを扱っており、受験生の知識の範囲内では、貴族が中心となって栄えた文化は南朝の文化であるから誤文となる。しかし、実際には梁の武帝時代に見られるように、南朝でも仏典の翻訳事業が行われていたため、正文ともみなせる。	標準

#### 合格のための学習法

難化傾向が続いているが、標準的なものも多く見られるため、基本的な知識を確実に押さえておきたい。出題形式は4択の正誤判定問題が中心であるので、演習を重ねておきたい。今年も全て記号選択問題であったが、今後傾向が変化する可能性もある。書いて覚える習慣もつけておこう。また、現代史や地理的な知識が問われることもあるので、対策を欠かさないようにしよう。